

広報
ひがし
しらかわ

謹賀新年

語り
の

酉
年

- 発行/東白川村
- 編集/企画財政課
- 岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747(8)3111
- 印刷/下呂印刷株式会社

人口の動き

—11月末住民登録人口から—

世帯数	910世帯
人口	3,443人
転入	5人
転出	6人
出生	1人
死亡	3人

先月と比較して4人減
昨年と同月と比較して
24人減

1993

平成5年

1

No. 380

新年の話題



平成五年は西年（西暦）です。

十二支の動物の中で、ただ一つの鳥類です。鳥というと鶏を思い浮かべる人が多いようです。鶏といえど、日本人が一年間に食べる卵の数は、一人当たり三百一十個です（世界第二位・世界鶏卵協議会・一九九一年発表）。鶏には、随分お世話になっているわけですね。

ところで村内に酉年生まれの方は二百八十六人（十一月末日現在）。村に在住する酉年の最初に生まれたみなさんに新年の抱負を伺ってみました。



安江正郎さん（95）
M30.2.18（上親田）
健康で毎日を過ごすことです。

（M30年生まれ1人）



新年明
けまして
おめでと
うござい
ます。平

成五年の新春を迎え村民皆様のご健勝と郷土の繁栄を心からお祈り申し上げます。

過ぐる昨年は災害もなく農林業生産にも恵まれ、商工業においても不況の影響も少なく産業経済の活性化にも成果をあげられました。

春、夏のイベントや諸行事、スポーツ文化活動花づくり、福祉ボランティア活動にも関係者の熱心な取り組みと参加によって充実した活動が行われました。

そのほか中京村人会の設立、小学校が全日本健康表彰の第一位受賞など特筆されることも多くありました。

村づくり総合計画に基づく施

心豊かな活力あるふるさとづくりを

— 村 長 桂川 眞 郷 —

設整備も、高齢者福祉の「せせらぎ荘」「伝承の館」を始め農産物加工施設「味の館」総合グラウンド完成、水道工事着工、道路橋梁整備等に着実な推進がออกมาました。新たに迎えた平成五年は、内外ともに極めて重要な年となります。特に役場庁舎とハナノキ会館の同時着工が予定され更に昨秋から工事中のこもれびの里宿泊研修施設、ふるさと企画の生産物直売施設が春にはオープンします。さて二十一世紀まであと七年となりました。新しい時代への夢をひらくためにも、美しい自然を守り産業教育文化、福祉等の充実によって、心豊かな活力あるふるさとづくりに村民皆さんの参加と一層のご支援をお願い申し上げます。

夢がふくらむこもれびの里 急ピッチで工事が進む！

平成三年度から工事が進められてきた「こもれびの里整備事業」。いよいよ平成五年度が最終年度となります。七月にオープンした総合運動場に続き、この三月には、宿泊体験施設「こもれびの館」も完成予定です。さらに長い間村民待望のハナノキ会館（文化会館）も平成五年度には完成し、スポーツと文化の交流ゾーンの姿が整います。

木のぬくもりを

感じるたたずまい

現在工事が進められているこもれびの館は、役場裏山の標高四百㊦に位置し、村を代表する捨籠寒陽気、手掛岩等、連山が展望できる高台にあります。その造りも昭和初期の農家風がモデル。ひのきを使った大黒柱に、いり、玄関から一歩入るとにわ（土間）もあり、田舎の雰囲気を感じます。



工事が進むこもれびの館

役場庁舎建設に伴い、村民センターが庁舎となるため、今までセンターを利用して行われていた会議やサークル活動などの場としても充分機能を果たします。十畳間が四室ある離れは、子

この建物は大きく三棟にわか



村雲利治さん (35)
S 32.1.7 (柏本)
家族全員が健康で過
ごせることが、一番
の願いですね。
(S 32年生まれ26人)



安江光昭さん (47)
S 20.1.15 (上親田)
健康に気を付け、
ゆとりを持って生活
を送りたい。
(S 20年生まれ39人)



安江富雄さん (59)
S 8.1.1 (黒淵)
体に気を付けて、
西年なので元気にコ
ツコツ働くこと。
(S 8年生まれ73人)



安江雪子さん (71)
T 10.1.2 (日向)
昨年白川でピアノ
教室の発表会が実現。
今年も頑張りたい。
(T 10年生まれ51人)



安江常市さん (83)
M 42.1.1 (平)
体は至って健康。
散歩することが毎日
の日課です。
(M 42年生まれ27人)



安江章浩さん (23)
S 44.1.2 (下親田)
いろいろな面で充
実した一年を過ごし
たい。
(S 44年生まれ38人)



村雲友紀さん (11)
S 56.1.3 (加舎尾)
今年は中学生だから
勉強や部活に目標
を持って頑張りたい。
(S 56年生まれ31人)

くべき道を考えていきたいと思
時流に乗りながらみずからの行
することなく、しかし時には、
未来を予測しつつ、安易に妥協
するに、私たちは常に夢を持ち、
移してまいりました。

移してまいりました。
さて、私たちは常に夢を持ち、
未来を予測しつつ、安易に妥協
することなく、しかし時には、
時流に乗りながらみずからの行
くべき道を考えていきたいと思

上げます。
お迎えのこととお慶び申し
おそろいで輝かしい新春を
村内の皆様には、ご家族
とバブルの崩壊といわれる
中、景気の低迷と政治の混
乱は、私たちの村にも少な
からず影響を及ぼしました
が、一方で災害もなく、
村民の皆さん一人一人のご
努力によって村内の農林業
をはじめ商工業も順調に推
移してまいりました。



新年あ
けまして
おめでと
うござい
ます。

常に将来を考えて

— 村議会議長 熊澤 健一 —

会の果たすべき役割と、責任と
を自覚し、村民の皆さんのご期
待を裏切ることのないよう努力
する所存でございますので、一
層のご協力をお願いいたします。

また、私達は常に夢を持ち、
未来を予測しつつ、安易に妥協
することなく、しかし時には、
時流に乗りながらみずからの行
くべき道を考えていきたいと思

また、私達は常に夢を持ち、
未来を予測しつつ、安易に妥協
することなく、しかし時には、
時流に乗りながらみずからの行
くべき道を考えていきたいと思

います。
昨年、これからの高齢化社
会を考えていくうえで欠くこと
のできない高齢者福祉施設「せ
せらぎ荘」も運営が開始され、
また将来の生活環境を考え
るうえで欠くことのできな
い水道事業もさまざまな条
件を克服しながら、着工の
運びとなりました。

ハナノキ会館も
今年度完成
現在の村民センター
の集会機能に加えて、
郷土歌舞伎や演芸会、
音楽会など、五百人以
上が収容できる大ホー
ルと百五十人程度の結
婚披露宴会場とを備え
た、多目的に利用が可
能な文化施設ハナノキ

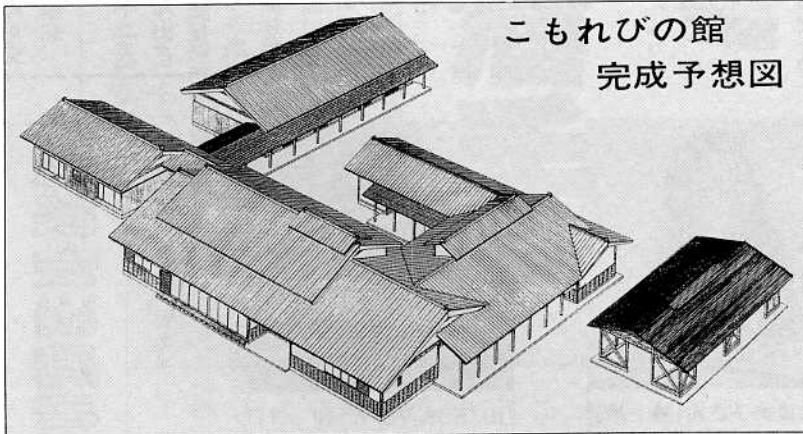
ハナノキ会館も
今年度完成
現在の村民センター
の集会機能に加えて、
郷土歌舞伎や演芸会、
音楽会など、五百人以
上が収容できる大ホー
ルと百五十人程度の結
婚披露宴会場とを備え
た、多目的に利用が可
能な文化施設ハナノキ

ハナノキ会館も
今年度完成
現在の村民センター
の集会機能に加えて、
郷土歌舞伎や演芸会、
音楽会など、五百人以
上が収容できる大ホー
ルと百五十人程度の結
婚披露宴会場とを備え
た、多目的に利用が可
能な文化施設ハナノキ

ハナノキ会館も
今年度完成
現在の村民センター
の集会機能に加えて、
郷土歌舞伎や演芸会、
音楽会など、五百人以
上が収容できる大ホー
ルと百五十人程度の結
婚披露宴会場とを備え
た、多目的に利用が可
能な文化施設ハナノキ

ハナノキ会館も
今年度完成
現在の村民センター
の集会機能に加えて、
郷土歌舞伎や演芸会、
音楽会など、五百人以
上が収容できる大ホー
ルと百五十人程度の結
婚披露宴会場とを備え
た、多目的に利用が可
能な文化施設ハナノキ

こもれびの館 完成予想図



会館は、現在敷地造成工事に入
っており、五月ごろをメドに着
工、新年度中には、完成する予
定です。また、これらの施設を
結ぶハナノキロードも新年度中
に舗装が整い、文化・スポーツ・
レクリエーションの交流ゾーン
「こもれびの里」が完成となりま
す。



西年

広報座談会

夢を大いに語る

去る十二月五日、村民センターにおいて村長、議長さんを支え、新年を迎えるにあたり、村の抱える諸問題や今後の構想、将来の夢などを語り合う広報座談会を開催しました。
参加者は新年のエトにちなんで村内の西年生まれの方十二人。日ごろ考えていることや、将来への注文などがたくさん出されました。
(司会進行・嶋倉企画財政課長)

出席者—敬称略	
明治42年生	安江 多重(83)
大正10年生	村雲 康平(71)
	安江 ちよ(71)
昭和8年生	松岡 勝(59)
	古田智登枝(59)
昭和20年生	今井 照夫(47)
	伊藤ますみ(47)
昭和32年生	栗本 丈兒(35)
	安江 優子(35)
昭和44年生	安江 利修(23)
	安江貴美子(23)
昭和56年生	山下 洋平(11)

若い世代が定着する ような村づくりを!

司会 本日は、年の瀬のお忙しい中を参加いただきありがとうございます。今日の座談会は、新年を迎えるにあたり、みなさんそれぞれの立場から現在の村の現状や課題を踏まえ、未来の東白川村を展望し、魅力

ある村づくりのための夢を話し合っていたきたいと思います。村長 本日は、西年生まれ七世代の皆さんをお招きして、将来についての夢や希望を語っていただき、そうしたご意見を今後村政に生かしていくために計画したものです。あまり堅苦しく考えずにぎくばらんにお話し下さい。
議長 村長も申しましたように住民の皆さんの声に基づいて総合計画を立て諸事業を展開しております。また本日お集まりの皆さんのご意見の中から村を繁栄させる考えが生まれることを期待しています。
▼企画財政係長から現在取り組んでいる諸事業の説明。
司会 たいだいま係長のほうから村の将来図に関する説明がありました。ご意見やまた現在の課題などお聞かせ下さい。
安江多重さん 私はもう今の世の中に非常に満足して何もいう

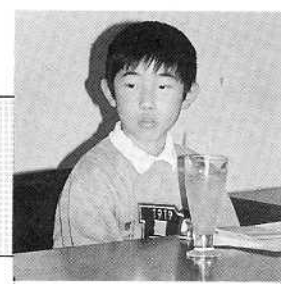
座談会出席者



安江利修さん(加舎尾)



安江貴美子さん(陰地)



山下洋平さん(神付)

ことはないくらいです。今年はせせらぎ荘も作っていただきたい。唯一の願いは二度と戦争が起らないことです。

村雲康平さん 戦争の話が出たので、文化財に携わる者からの意見ですが、あの戦争を経験して、村にある貴重な文化財の保存状態が非常に悪くなった。計画では後山に文化的施設が建つということと文化財の保管なども併せて考えていただきたい。村長 昔はお寺を中心に文化が開けたというくらいですが、東白川は、廃仏毀釈を経験したためお寺がなく、文化的遺産が少ないといわれる中、皆さんの協力で調査を進めていただき、整

村長 桂川 眞郷



理し保存ができる施設も今後検討していきたいと思っています。多重さん 東白川は、加子母や付知と違って、昔から通り道だったので遺跡も少ないのでは？ 議長 今、道の話が出ましたが、道路網というのは、本当に大切です。主要地方道の日でも早い改良が急がれる課題です。栗本丈児さん 僕らの年代はどうしても仕事に追われる毎日、村の将来というようなことを考える機会が少ない。しかし仕事の関係上、いろいろな施設ができるのを見て、名称など凝っており嬉しく感じますが、その反面、若い人が定着してくれないといった問題があります。若い人が「村に住みたい」と思えるような魅力ある施設を考えていくことが大切なのは。

村長 やはり人の定着、特に若い人の定着が一番の課題です。所得が得られなければ人も集まらない。経済活動を活発にするためには道路整備が大切になる。現実には難しい点が多くあります。司会 この問題にちよさんたちの世代はどうお感じですか。安江ちよさん 私たちは立派な施設がたくさんでき、すばらしい村になることを見届けるため

いい村やなとか住みやすい所やなどという気持ちになれば、例えば一度離れても村へ帰りたくなる。そうした環境があればと思います。その点でスポーツと文化の交流ゾーンもればの里はすこくいいと思います。司会 洋平君、子どもの立場から見て東白川をどう思いますか。山下洋平さん いろいろ施設がありとても良い所だと思います。村長 もっと良くするために、こうして欲しいといったことはありませんか。洋平さん 子どもたちが自由に遊べる所を作って欲しいと思います。村長 利修君は青年の立場でどうですか。安江利修さん 最近キャンプなど、屋外レジャーがはやっているのでもそういう施設があれば、安江貴美子さん 都会から遊びにきてても日帰りで帰ってしまうので、簡易宿泊施設や飲食する所が欲しいと思います。松岡勝さん この村にしかないような特長を生かして、若者がいたくなるような施設を作ってはどうでしょう。村には若者を惹きつける何か欠けている。今井照夫さん 例えば家を継ぐ

の行事にも積極的に参加し、下級生から尊敬されるような六年生になりたいと思います。伊藤ますみさん 今年是有瑠美会の活動の中で皆さんの協力により車イス一台を購入できました。この活動は継続するつもりです。婦人会で行っている牛乳パック回収などのリサイクル活動も含め、ちよっとした心がけで誰にでもできるボランティア活動を展開したいと思います。勝さん 園芸を通じて活力ある村づくりを目指したい。夢は園芸王国を作ることです。ちよさん 健康でゲートボールができればいいことはない。産業祭目指し野菜づくりをしたい。智登枝さん 福祉活動に力を入れていきたい。また一日も早く道が良くなるのが願いです。照夫さん 年齢的にも四十八歳となるので第一に健康。そして仕事に精を出すことです。貴美子さん 気軽に「村に遊びおいでよ」といえるような村になることが一番の願いです。利修さん 今年ふるさと企画の仕事で村外へ何回か行きました。来年も村を宣伝するような仕事に参加してみたいです。優子さん ます、家族そろって健康であること。それとこれは



今井照夫さん(大 沢)



伊藤ますみさん(平)



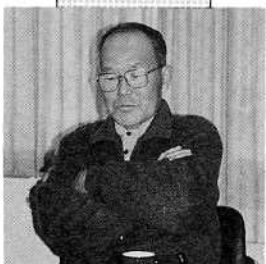
栗本丈児さん(柏 本)



安江優子さん(栃 山)



安江多重さん(黒 瀧)



村雲康平さん(神 付)



安江ちよさん(上親田)



松岡 勝さん(陰 地)



村議会議長 熊澤 健さん



らない。経済活動を活発にするためには道路整備が大切になる。現実には難しい点が多くあります。

司会 この問題にちよさんたちの世代はどうお感じですか。

安江ちよさん 私たちは立派な施設がたくさんで、すばらしい村になることを見届けるため長生きをすることが願いです。

多重さん 人生の一番大切なことは健康。この村は健康面に適しており、道路が整備されれば、都会へ出ている若い人もいずれ帰ってくるのでは。

司会 優子さんたちは、まだ子育ての時期ですがどうでしょう。

安江優子さん 村の計画をいろいろ聞かせていただいて、興味を持ったのは、こもればの里構想です。子育てをしている者の立場から見ると、若い人が定着するためには子どものころから

私の新年

私の希望

ので、簡易宿泊施設や飲食する所が欲しいと思います。

松岡勝さん この村にしかないような特長を生かして、若者がいたくなるような施設を作ってはどうでしょう。村には若者を惹きつける何か欠けている。それを考えた村づくりが必要。

今井照夫さん 例えば家を継ぐといったような日本人の心が薄れているのが、原因なのでは。

古田智登枝さん 若者たちが帰りたいと思えるようにするためにも、村にいる私たちが相談して協力することが大切です。

司会 それでは皆さんに要望などを交え、新年に向けての抱負をお聞きます。

洋平さん 最高学年として、村

貴美子さん 気軽に「村に遊びにおいでよ」といえるような村になることが一番の願いです。

利修さん 今年ふるさと企画の仕事で村外へ何回か行きました。来年も村を宣伝するような仕事に参加してみたいです。

優子さん まず、家族そろって健康であること。それとこれは願いますが、子育てが一段落した母親が職場に戻れるように例えばパソコン講座などがあれば、丈見さん 村を知るためにもこうした会を増やすことが大切。

議長 議会でもこうした皆さんの要望を聞き、施策を進めたいと思います。

村長 村の発展に貴重なご意見ありがとうございます。これからも住民の皆さんとの対話を大切にして心が通った村づくりを推進します。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



古田智登枝さん(久須見)



今井照夫さん(大 沢)

百年の歴史を越えて

役場庁舎建設に着手

現在の役場庁舎の前身、神戸尋常小学校が建てられて二年、役場庁舎としての使用が始まって八十年を超え、いよいよ新しく生まれ変わる役場庁舎をご案内しましょう。昨年六月ころから進められていた基本構想は、年末にはほぼまとまり、建設場所は、現庁舎位置。できるだけ無駄を省き、質素な中にも二十一世紀の村づくりの拠点としての機能を重視したものになっています。

新庁舎は

三階建て

新しく建てられる庁舎は事務室と議場で鉄骨造三階建てとなりますが、敷地はほぼ現庁舎の位置で慰霊塔を移転して東側へ少し広げます。

新庁舎の一階はドアを開けるとまず住民ホールがあります。左手は会計室。右手は窓口カウンターがあって、戸籍、住民登録、税務など住

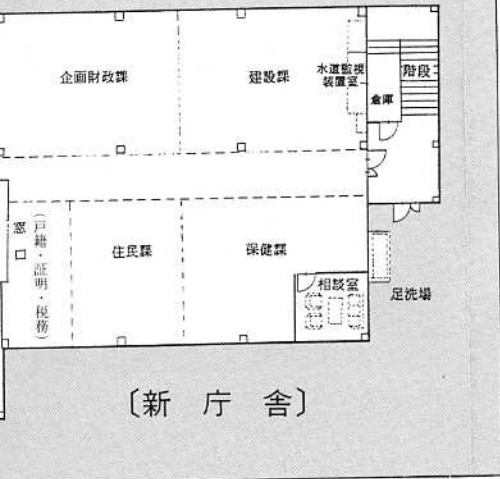
どもにも利用できる会議室も作られます。

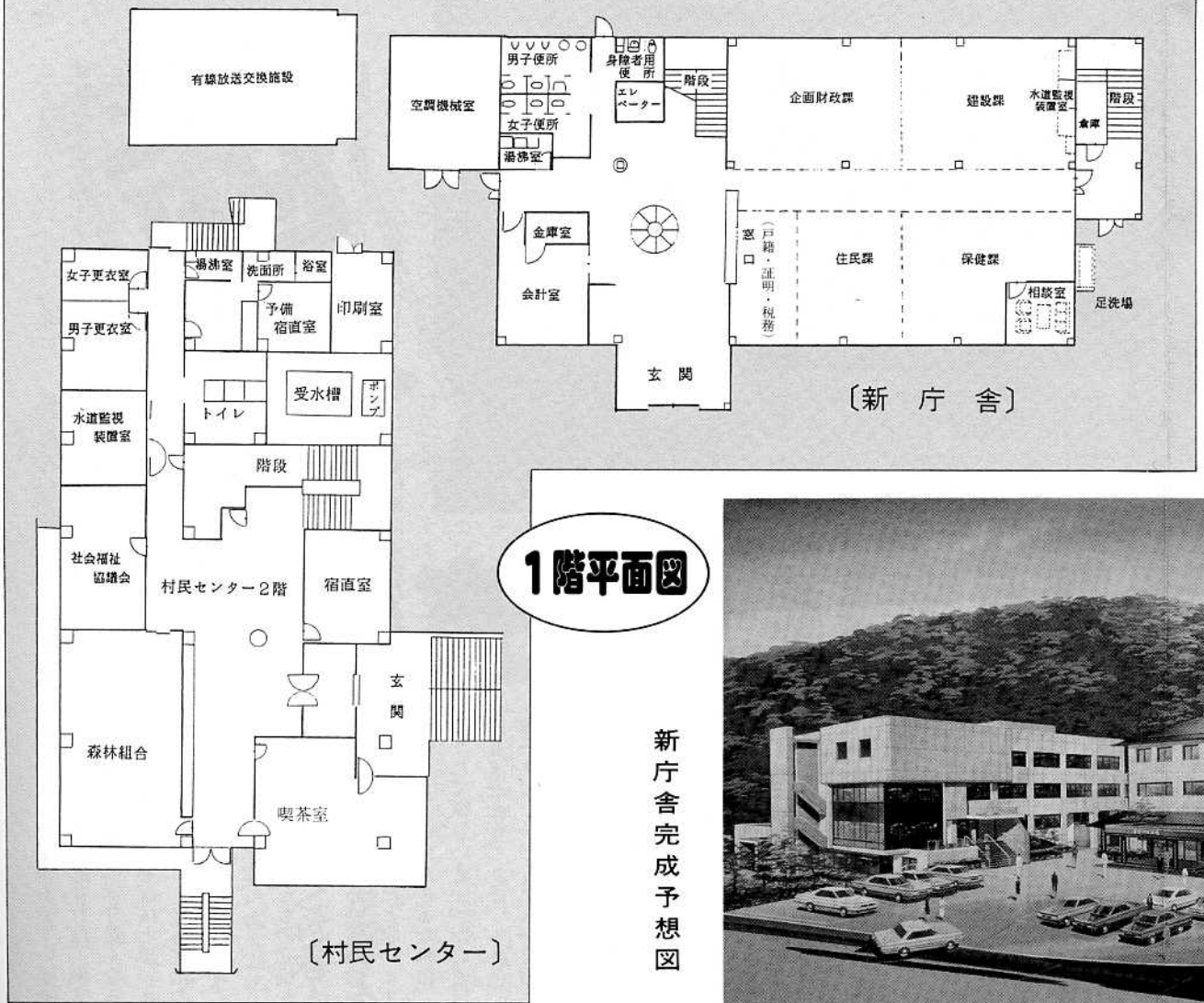
本来ならば新築する庁舎の中へ役場の機能をすべて納めるのが理想ですが、そのためには五階建てくらいにしなければならず、費用も膨大になるので、村民センターを庁舎の一部に使って一体的に利用することにした。

村民センター

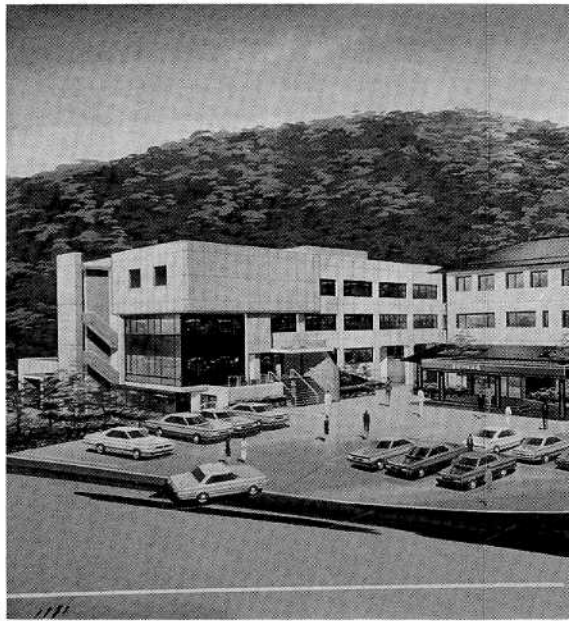
一・二階・三階を改造

まず、村民センターの玄関を入っていただくと、今まで社会





1階平面図



新庁舎完成予想図

新庁舎は

三階建て

新しく建てられる庁舎は事務室と議場で鉄骨造三階建てとなりますが、敷地はほぼ現庁舎の位置で慰霊塔を移転して東側へ少し広げます。

新庁舎の一階はドアを開けるとまず住民ホールがあります。左手は会計室。右手は窓口カウンターがあつて、戸籍、住民登録、税務など住民の皆さんの日常的な用事はほとんどここで済ませることができるといふでしょう。

一階には、皆さんの生活に関連の深い住民課、保健課、企画財政課、建設課が配置される予定です。

突き当たりには、階段とエレベーター。また、身障者用便所もあります。玄関口のスロープと合わせ車イスの方にもご利用いただける設計となっています。

二階には、村長室、総務課、農務課、林務商工課が置かれ、また村民センター三階と連結した渡り廊下が作られます。

三階は、議員さんのスペース。固定席のある議場と正副議長室、議員控室、事務局が置かれ、また、事務嘱託員（組長）会議室

ども利用できる会議室も作られます。

本来ならば新築する庁舎の中へ役場の機能をすべて納めるのが理想ですが、そのためには五階建てくらいにしなければならず、費用も膨大になるので、村民センターを庁舎の一部に使って一体的に利用することにしました。

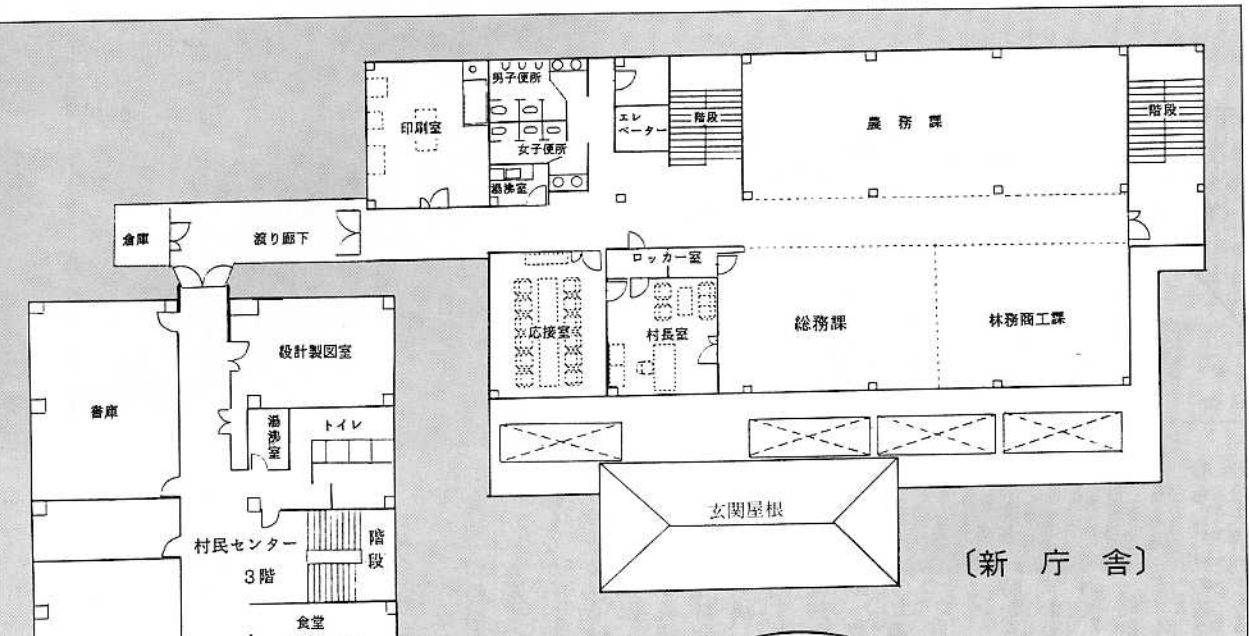
村民センター

一・二階・三階を改造

まず、村民センターの玄関を入っていただくと、今まで社会福祉協議会の事務局があつた部屋に、宿直室ができます。休日、夜間などに役場へご用のある方は、ここですべての処理がされます。

森林組合は、現在の位置、また、一月中には建設中の商工会館が完成し、二月には事務局が引っ越しの予定になっており、そのスペースに社会福祉協議会の事務局が置かれます。

社会福祉協議会の隣は、簡易水道の機械室となります。村の水道の監視は、この部屋の装置によって二十四時間体制で行われ、何か異常が発生した時には、この部屋でキャッチして、庁舎一階にある水道監視装置のモニターに知らせるしくみになっています。



2階平面図

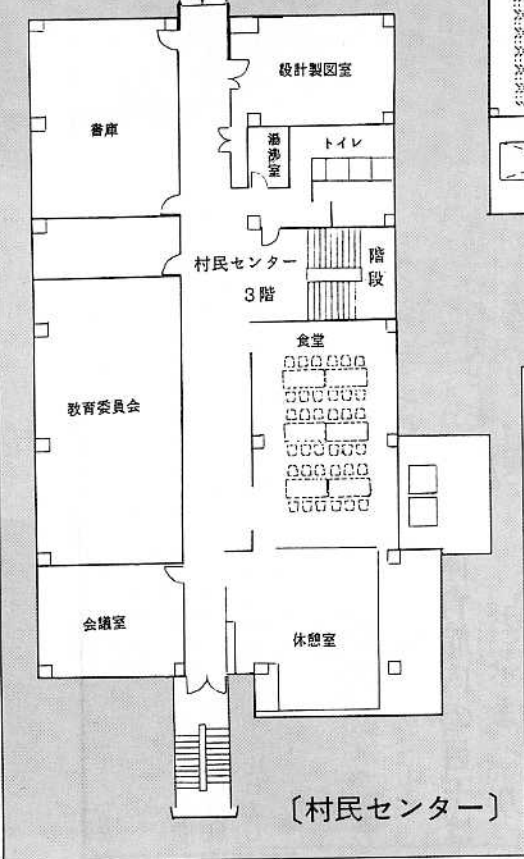
センター三階は、現在の農業研修室に教育委員会が入り、林業研修室が書庫となります。また、栄養改善室を職員の食堂に使用する予定です。

現庁舎は、四月には解体されることになっており、村民センターは、新庁舎が完成するまでの約一年の間、仮庁舎としても使用されることになります。

集会機能は ハナノキ会館で

このように村民センターを庁舎に使うと、今まで集会や研修に使っていたスペースが無くなってしまいます。

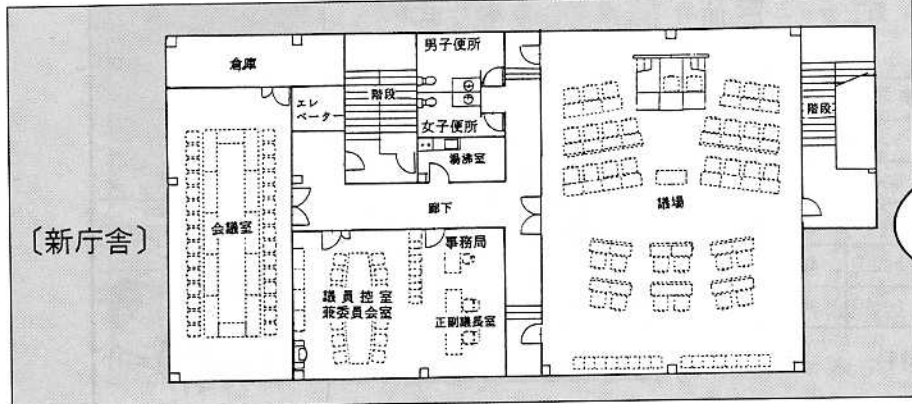
こうした機能については、この広報の二〜三ページにも少し触れたように後山に建設される



ハナノキ会館へそっくり移されることとなります。大集会室、農業研修室、林業研修室、栄養改善室などの機能は、今までもりもさらに広く、使いやすい施設となるのです。

予定では、このハナノキ会館は今年五月工事に着手し、完成までに一〜二年はかかることになっており、また村民センターは、この四月から仮庁舎としての使用が始まりますので、ハナノキ会館が完成するまでの期間、住民の皆さんには大変ご迷惑をおかけすることになりますが、三月完成予定のこもればの館やふるさとセンター、越原センター、五加センターなどの施設を申し込んでいただいで使用していただくこととなります。使用についての詳細は、追って連絡します。

また、村民センターの図書室については、ハナノキ会館では、距離が遠くなることを考え、皆さんが気軽に立ち寄ることができる位置に新しく建設することを検討中ですが、当面はセンター四階に置かれます。



3階平面図

大集会室等のある村民センター四階は、現在のままの形で使用するので平面図は省略しました。

自然の恵みに 乾杯



にぎわう大鍋まつり

「今回の目玉は？」と聞かれて思わず「うーん」と考えてしま
うほど盛りだくさんの催しが行われた産業祭。
一年の締めくくりとも呼べるこの催し、今回のテーマは「自
然の恵みに乾杯」。好天に恵まれた十一月二十二日、収穫の秋
を祝うイベントに村内外から約二千二百人の参加者が訪れまし
た。

体も心も温まった

大鍋まつり

今回一つの試みとして行われ
たのが「大鍋まつり」。収穫に
感謝しながらお腹を満たそう
との考えから始まったこの企画、

用意された鍋は、社会福祉協議
会のみそ・牛乳鍋、商工会の石
狩鍋、農業委員会
の松茸・海老鍋、
農協青年部のすっ
ぽん雑炊、園芸振
興会のしし鍋、農
業婦人クラブの豚
汁の合計六つ、千
八百食分。

午前十一時から

無料でふるまわれましたが、予
想以上に好評で、終了予定時間
の二時より一時間も早く各鍋店
の鍋は空っぽ。各鍋とも趣向を
凝らした具の数々と独特の味付
けは大評判となり、中には、お
かわりを求める姿や、人気のあ



手もみの実演

体育館内の目玉は

お茶まつり

る鍋には、長蛇の列ができるな
ど大きな成果を挙げました。

例年、野菜の品評会や、ギネ

ス東白川の展示、また各種事業
のモデル展示などにぎわいを
みせる中学校体育館内の会場で
すが、今回はそれに加え
え、お茶まつりが開か
れました。
特産品として知られ
る白川茶の産地である
にもかかわらず今度の
ような催しは初めての
こと。その内容もお茶
のサービスはもとより

村内六業者による白川茶販売、
白川町の手もみ保存会による手
もみ茶の実演や試飲、お茶飲み
くらべや茶道教室、はては、今
健康食品として注目を集めてい
る茶を材料にした食品の試食会
など、まさにお茶づくし。また、

おしらせ

58人が大人の仲間入り 1/15 東白川村成人式

一月十五日新成人の門出を祝
う「東白川村成人式」が次のよう
に開かれます。

●期日 一月十五日(土)

●会場 東白川村民センター

●受付 十時～十時三十分

●今年新成人として大人の仲間

入りをするのは五十八名、また、

昨年同様、フルート・ピアノ・

チェロの演奏会(幸協直人とフ

ラウト・ラ・モーレ)を予定し

ています。

正しい一票明るい県政

1/31 岐阜県知事選挙

一月三十一日(日)は、県政
のかじ取り役を選ぶ岐阜県知事
選挙の投票日です。

前回の村での知事選挙の投票

率は八十一・〇割でした。

寒さの厳しい時期ですが、日

本一住みよいふるさと岐阜県づ

くりはあなたの一票から始まり
ます。候補者を「よく見」「よ
く聞き」「よく考えて」棄権す
ることなく必ず投票しましょう。

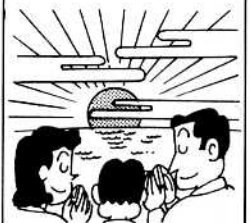
交付手数料が

改定されました

戸籍手数料令の一部改正によ
り、一月一日から交付手数料が
次のとおり改定されました。

種 類	現 行	改定後
戸籍の謄本又は抄本	1通 300円	400円
除籍の謄本又は抄本	1通 500円	700円
戸籍の記載事項証明 証明事項1件	200円	300円
除籍の記載事項証明 証明事項1件	300円	400円
届書の受理等の証明書	1通 200円	300円

〈改定後のおもな手数料〉





J A 東白川の「宝船」感謝丸

4月1日から合併により、美濃加茂農協東白川支店として新しいスタートとなるJ A 東白川。

東白川農協としては最後の産業祭となり、特別企画として宝船「感謝丸」の出航となりました。宝船といえは七福神ですがありがたい福の神々にふんじたのは農協理事のみなさんでした。

ク製で展示された鳴倉玄治さんの四十二巻、七百六十五巻のアマゴなど、展示品はビックリのめじろ押し。

産業祭ですっかり定着した感があるのが「ギネス東白川何でも村一番」のコーナー。昭和六十一年「村に明るい話

ギネス東白川 十七点を公認

引いたのが、二百八十七巻のテッポウユリ。作ったのは、大沢の今井正巳さん。今までの記録を五十巻近く更新しました。また、現物展示では、記録を三百

入口では、茶がほうじられており、そのなんともいえない香りが、体育館内を包み込んで、館内は、あたかも「ミニお茶博覧会」といった様相。昨年平成四年が、お茶が好況だったことを反映するかのよう



見事大成功。お茶の香りに誘われた、大勢の見物客で大にぎわいでした。中でも今回目を

題を提供する。目的で始まって以来、七年目を迎えました。体育館の展示会場では、平成

今回認定を受けたみなさんには開会式で認定証が渡されましたが、ここ数年の傾向として例えば田口隆一さん（加倉尾）のヒマワリや今井良吉さん（神付）のネギなど、テーマを持って挑む人が増えているようです。

秋の収穫祭

にふさわしく

また、これ以外にも体育館ではみなさんから応募いただいた「花壇コンクール」、「東白川十景」の写真展をはじめ新庁舎やこもればの里のモデル展示、各種事業の展示などが行われ、運動場では、加子母村の伝統芸能「さいとりさし」が上演されるなどどこへ行っても大好評。今まで十三回を数え、いろいろ趣向を凝らした産業祭ですが、今回は特に「自然の恵み」を重視し、秋の収穫祭にふさわしいまつりとなりました。



加子母村の「さいとりさし」

図書コーナー

「プワゾン」



藤堂志津子著
本の表紙がきれいで思わず手にしました。優しいラブ・ストーリー、大人の女と男の危ない駆け引きなど短編一つ一つが全く違っていて、飽きさせません。推薦人（22歳 女）

チンギス・ハーン英雄伝(上)

赤羽たかし著



人として人間としての真価が問われる時代があって今、現代人に求められるリーダーとしての器や技量をモンゴルの大草原を野望に向かって駆け進むチンギス・ハーンにかいま見た。推薦人（33歳 男）

農業委員選挙について

平成五年は、農業委員会委員選挙が七月に実施される年で、選挙資格は、十アール以上の耕作者か、その同居の親族で年間六十日以上農業従事者に限られます。

選挙資格を有する方は、選挙人名簿登録申請書に必要事項をご記入のうえ、営農組合長を通じて農業委員会事務局（役場農務課）までご提出下さい。

栄冠はどこへ？

1/24 ふれあい綱引大会

一本の綱に心を結び力一杯

いのちを燃やす」をスローガンに第六回村民ふれあい綱引き大会が、一月二十四日（日）午前九時（集合）から東白川小学校体育館で開催されます。

村の冬季スポーツとしてすっかり定着した感のあるこの大会は、五十二チーム総勢六百人が参加、熱戦を繰り広げましたが、今年の大会も熱戦が大いに期待できそうです。

寒さも吹き飛ばさんばかりに激しくぶつかりあう力と力。みなさんもこの大会に家族そろって参加しましょう。

大会の詳しい内容は、教育委員会事務局（有線二一七二）まで。

伝承

新年の準備万端 注連縄作り



「なかなかうまくいかないなあー」

「神道村ならではの伝統を残そう」と親田宮農組合が中心と

なつて十一月十五日、上・下親田、中通地区を対象に「三世代ふれあい広場が、伝承の館で行われました。

参加者は子どもからお年寄りまで約百人。神田神社、神明神社宮司の村雲巖美さんを講師に迎え、神社参拝の方法やお正月を迎えるにあたり紙垂、注連縄など家庭で必要な神具の作り方を学びました。

清掃

わたしたちの村だから 全員参加の奉仕活動



「こんな所にも落ち葉がいっぱい」

十一月二十一日、東白川中学校の生徒たちが、公共施設を中心に道路やガードレールなどの清掃奉仕作業を行いました。

これは、「地域のために何か役立つこと」を目標として生徒自身が発案、計画したものです。いつもは、登下校中に何気なく通り過ぎてしまっている道路ぞいのゴミを一生懸命集める姿が印象的でした。

合併

9農協が一つになって 今年が農協元年です



組合長さんの固い握手

美濃加茂市と加茂郡内九つの農協の合併仮調印式が十一月二

十七日、美濃加茂市で行われました。東白川農協では、十二月三日総会の席上組合員の賛同を得、四月に正式合併をし、美濃加茂農協（J Aみのかも）東白川支店として四月一日より新しくスタートします。合併後は県内二位の規模となります。今年一年間役員は、現行のままでありますが、一年後は、理事三十人、監事五人になる予定です。

記録

交通死亡事故〇の日に二〇四二日 ただ今記録を継続中



渡辺部長も大忙し

年末の交通安全週間（12月11日〜20日）初日、交通安全協会と交通安全対策協議会の皆さんが、神土平地内（白草前）に指導所を設け、通勤途中のドライバーに安全運転を呼びかけました。村内での交通死亡事故〇の日は、二〇四二日（十二月十五日現在）。年末・年始は、お酒を飲む機会の多い時期。「飲んだら乗らない」を心掛けましょう。

■戸籍の窓―敬称略（十一月一日〜十二月十五日）
誕生おめでとうございます
（陰地） 菊田 正敏 有平
さゆり 有平
いつまでもおしあわせに

牧野 勇三（日向）
小池ひとみ（付知町）
田口 正昭（平）
栗本江里子（柏本）

田口雄一朗（東京都）
増谷 美里（久須見）
立花 幸峰（一宮市）
梅田 敦子（平）

三浦 広成（加子母村）
今井 美樹（平）
村雲 憲（大口）
磯貝 祥子（土岐市）

中嶋 紀行（白川町）
村雲百合子（西洞）
今井 輝久（白川町）
安江 美和（神付）

おくやみ申しあげます
安江ひさよ 80歳（柏本）
藤原 秋太 88歳（平）
安江 てる 58歳（大明神）

■善意の寄付―敬称略
【奨学基金指定寄付金】
現金一万円―村雲敏弘（江南市）

落成 年賀状は新しい局舎から 新東白川郵便局スタート

新築移転のため、七月から工事が進められていた東白川郵便局舎が十一月の末に完成、十二月三日盛大に落成式が行われ、同七日から新局舎での業務が開始されました。

昭和三十四年、これまでの局舎が建てられて以来三十余年、規模の拡大と時代の波に即した建物をめざし進められた新局舎は、近代的でモダンな建物に生まれ変わりました。

今回の新築移転機会に、郵便局の歴史をひもといてみたいと思います。

東白川郵便局の前身である神戸郵便取扱所が設置されたのは、明治七年のことでした。初代の郵便取扱役(後の局長)に任命された服田喜兵衛氏が、私宅の一部を使って事務を開始。その後集配業務、郵便貯金取り扱いなど業務の増える中、神戸郵便局と改称したのが明治十九年。



明治 大正ころの局舎

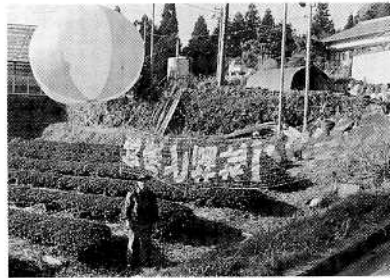


明るくモダンなフロア

明治三十一年白川街道の開通に伴い、専用局舎が新築。明治四十二年には東白川郵便局と改称。大正から昭和初期には、簡易保険や郵便年金、電話交換事務などが開始され、今まで親しまれた局舎ができたのが、昭和三十四年でした。

時代と伴に姿を変えてきた郵便局、私たちの山村にとっては無くてはならない施設です。

迷子 空からの贈り物？ 福祉を謳うアドバルーン



アドバルーンの下に写っているのが安江さん

「健康と福祉フェスタ」と大きく書かれた、直径二メートルを越すほどのアドバルーンが、柏本に飛んできました。

山に落ちていたアドバルーンを持ち帰ったのは安江益良さん(柏本)。「どこかの町でイベントに使ったものが吹いてきたのでは…」とのご推測。

一緒に並ぶと(上の写真)その大きさが一目でわかります。

珍品

新年早々こんな姿で ゴメンナサイ!

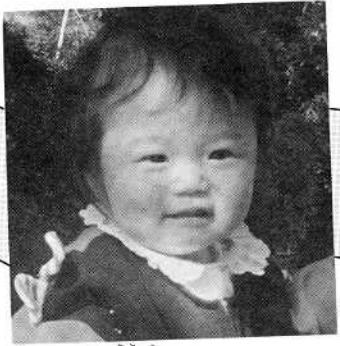
「あけましておめでと〜ございませう。わたくし生まれも育ちも東白川は、加舎尾の大根畑で



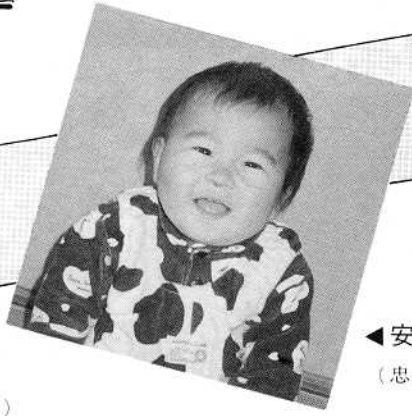
ございませう」と今にもしやべり出しそうな、ユニークな顔を作ってもらった大根君。

この大根の製作者(?)は、安江峰雄さん(加舎尾)。形があまりに人間に似ていたから顔を書いてしまったとか。寒い夜には、だしをいっぱい吸い込んだおでんの大根はおいしいものですが、この大根、おでんには、ちよつと…。

- 【交通安全指定寄付金】
現金十万円 古田政春(平)
- 【社会福祉施設整備基金指定寄付金】
現金五万円 藤原省司(美濃加茂市)
- 【社会福祉協議会へ】
現金十万円 村雲茂(柏本)
- 【東白川小学校へ】
教材「わたしたちの食糧と日本の農業」二十一冊 東白川農業協同組合
- 竹ぼうき十八本・雑布六十枚
- 老人クラブ高砂会
- 本「栄養つれづれ草」一冊 実践女子大学教授山口迪夫
- 工事入札の結果
- ①は入札期日 ②は落札金額および落札業者
- ▼誘遊街道道路新設二期工事
①十一月二十七日 ②五千六百六十五万円、山田土建(株)
- ▼生産物直売施設建築工事
①十一月二十七日 ②三千五百二十万円、安江建築
- ▼白川瀨音公園野外便所建築工事
①十一月二十七日 ②千四百八十三万二千円、弓建築
- 訂正とおわび：十一月号九ページの記事中、村史研究会は文化財審議会の誤りでしたので訂正しおわび致します。



▲安江麻子ちゃん (身和子さん二女=黒瀬)



◀安江真央ちゃん
(忠さん・琴美さん長女=日向)

ふれあい広場

新婚さん♡

■ワン・ショット■

新春号で
ご紹介する
カップルは、
昨年十一月
二十三日に
二年半の交
際を経て見
事ゴールイ
ンした、牧
野勇三さん、
奥さんが、ご主人を評せば、「優
しくてよく気がつくところ」に惹
かれました」とはご主人の話。
奥さんに村のことを伺ったと
ころ、「いい人がたくさんいるし、
不便さ、ということはありません、
じません」とは、村への評価も
かなり高いご様子。
お子さんは、二人そろって三
人ぐらいがご希望とか。ただ
最初の子どもは、男と女に意見
がわかれているようです。

ひとみさんご夫妻(日向)。
奥さんひとみさんは、付知町
のご出身。お二人の出会い、
付知町の喫茶店で、偶然居合
せたのがきっかけとか。「一
見冷たそうに見えるけど、内面
はずごく温かい人なんです」と
奥さんが、ご主人を評せば、「優
しくてよく気がつくところ」に惹
かれました」とはご主人の話。
奥さんに村のことを伺ったと
ころ、「いい人がたくさんいるし、
不便さ、ということはありません、
じません」とは、村への評価も
かなり高いご様子。
お子さんは、二人そろって三
人ぐらいがご希望とか。ただ
最初の子どもは、男と女に意見
がわかれているようです。



牧野勇三さん・ひとみさん

この写真は引き
のぼしてお二人
に進呈します。

ご主人二
十四歳、奥
さん二十三
歳という、
ヤングカッ
プルの誕生
です。

ふだいの生活

9

▽毛筆・硯・墨

正月一日といえは休日の中
も完璧な休日。雑煮をいた
て、家族で新年のあいさつを交
わし、こたつに暖まって……さ
て何もすることが無い。
たいいていの人々がそうしてい
る時に、仕事をしている人がいま
す。

「おめでとーございます」今
年最初の訪問者がやって来まし
た。郵便配達の人です。

届けられた年賀状の束は、何
もすることが無くなった家族一
同にちやうど良い時間つぶしと
なってくれます。

筆者が一九九二年の年賀状の
整理のついでに調べてみました。
約二百枚の賀状の宛名書き、毛
筆が三七割、ペン書き四二割、
ワープロ二割。

毛筆というのは日本古来の筆
記用具ですが日常的に使われる
機会はずっと少くなりました。
しかし改った時には何となく

毛筆を使いたくなる年代の人も
まだかなりあります。三七割と
いうのは、その数値でしょうか
さて、一口に毛筆といっても
今はインスタント毛筆全盛の時
代です。硯に墨をすって、竹の
柄に着けた新しい毛の先を少し
嚙んで湿めらせて、おもむろに
墨をふくませて書いた年賀状は、
三七割の中にどれほどあるでし
ょう。

インスタント毛筆と、本当の
毛筆でしかも本物の墨を使って
書いたものを判定するのは以外
に簡単です。指の先に水を着け
てこすってみれば、本当の墨を
使って書いた字はにじんで来ま
せん。

それは墨の中に膠が含まれて
いるからで、その接着力と艶が
書かれた文字に独特の風格を与
えてくれます。

家庭にも普及したワープロに
対抗して、毛筆年賀状がだんだ
ん貴重に見える正月です。





二か月間の帰郷を終え、二月十日中国へ帰られた安江宏子さんとお孫さん李永利さんからの手紙をご紹介します。十月七日、懐かしい古里に帰らせていただき、早二ヶ月が過ぎました。言葉のわからない主人と孫の三人はまるで浦島太郎のように、ただ珍しく面白く月日のたつのも夢のようでした。懐しい日本は、何もかもが発展して驚くことばかり。特に自動車の多さや

若い女の人にはびっくり。また、食べ物は何でもあって困ってしまっただけでした。どこへ行っても美しい日本、こんな楽しい生活を送り三人は、中国へ帰りたい気持ちになりましたが、主人の家は中国です。子供や孫たちが帰るのを待っています。自分の心を取り戻し、いろいろな思い出を胸に私たちは帰ります。古里の皆さんに親切にしていたいただいたご恩は生涯忘れません。本当にありがとうございます。安江宏子



役場へお別れのあいさつに

李永利
迎を受けました。初め日本語がわかりませんでした。宏子おばあちゃんの友達から日本語を勉強しました。ぼくは日本の人の心がやさしいことを感じました。どうもありがとうございます。

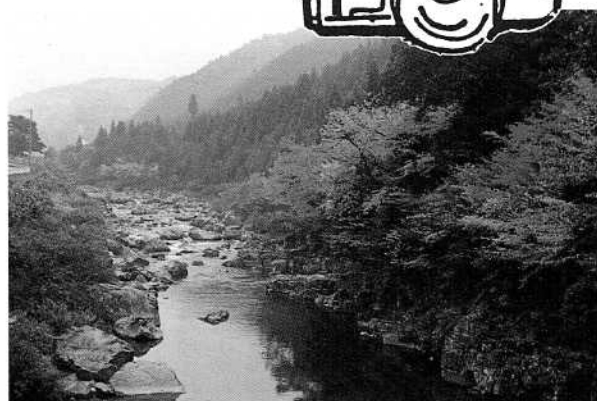


▲熊崎聖乃ちゃん

(昭彦さん・里美さん長女＝神付)



産業祭の「東白川十景」に選ばれた長洲の清流。長洲は、奇岩、怪石に富み、岩の態・水の色は、あたかも木曾の寢覚の床を思わせる、白川の絶景です。



元気です！
働くお年より
しめなわ
注連縄作り

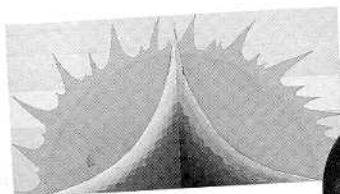
手に注連縄作りの苦労話
また、栗本さんは、老人クラブの皆さんと一緒に五加神社へ奉納する大きな注連縄も作られるとか。
この縄作りは、栗本さんにとっては、大切な年中行事の一つのようです。

「この仕事を始めるとまた新しい年を迎える気持ちになりますね」と話してくれたのは、明治四十二年生まれ、今年八十四歳になる栗本仲次郎さん(柏本)。栗本さんは、年末になると大忙しです。と、いうのも注連縄作りが始まるからです。「以前は、自分の家の分しか作っとなんだけども、五、六年前にある所から、太めのものを頼まれて、それ以来、近所の人や、親類などからも頼まれるようになり作っています。太いのを作ったのもその時が初めて。いつも作っていた細いのを作るのと要領は同じだからと思って始めてみたらこれがかなり厄介で、なっぴきよるとむらぎができてしまっただけでなかなかきれいにそろわん。今ではもうすっかり慣れましたが、始めたころは、細いのを作る時間の二倍も三倍もかかったもんですよ」とご自慢の縄を片



「注連縄作りは根気がいらいます」

わたしの作品



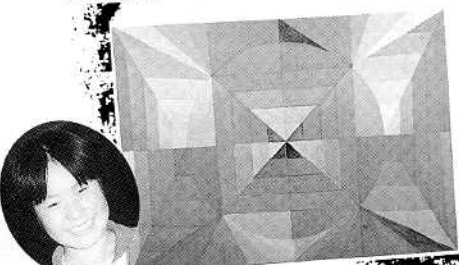
「グラデーション」
▲東白川中学校1年生
田口加代さん(陰地)



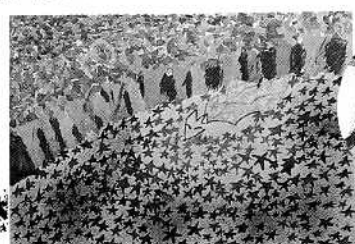
▲「ふしぎな森の中」を読んで
東白川小学校6年生 今井慎也さん(陰地)



▲「たのしかったえんそく」
越原保育園
かつらがわみきちゃん(日向)



「グラデーション」
▲東白川中学校1年生
服田ゆかりさん(平)



▲「きつねのまど」を読んで
東白川小学校5年生 安江晴香さん(大明神)



▲「たのしかったえんそく」
越原保育園
たかぎはるかちゃん(黒瀨)

広報文芸

●俳句

初霜や高きて塀の竹を編む
賀状見て少なくなりし明治人
愛こめて咲かせし菊の枯れにけり
一つきり柿の落ちてる雨の庭
芋の葉を傘にとさ、げはしやく声
工事場の重機落葉の洗礼受く
散り敷ける紅葉なほも地に萌ゆる
夕映えの消えゆく峯に冬の雲
落葉寄せ水おのづから流れけり
トゲの中柚子金色に輝けり
池の面を色どる朝の柿落葉
草の絮乗せたる風の定まらず
自分誌に夜寒を忘れ筆を持つ
雪化粧の富士を妨ぐ大型車
実南天ひときわ目立つ今朝の雪
天高く土産に短冊加へけり

●狂俳

情ない
ほんのり 盗み酒した頬赤い
おしいなも 若後家一人暮しとる
面白い 大先生尻尾掴まれる
おしいなも 米減反て田が荒れる
面白い 教科書よりも漫画読む
◎おしいなも 千古の老松虫が喰う
おしいなも びりを走る子振り返る
面白い 一字違いではすれたり
面白い 坊が片言座を湧かす

あなたも俳句・狂俳に挑戦してみませんか。あなたの作品をお待ちしています。投稿は奇数月の二十日までに、俳句は西河河田重喜宛、狂俳は陰地安江永吉宛までお寄せ下さい。なお、今回の狂俳の題は「見たり聞いたり」「生き甲斐」「妻」です。

清流軒久永

- | | |
|-----------|------------|
| 田口 薫(加舎尾) | 安江 市助(栃山) |
| 田口 薫(加舎尾) | 安江 一滴水(日向) |
| 安江 圭一(宮代) | 熊崎とみの(下野) |
| 河田 重喜(西洞) | 安江とくよ(平) |
| 安江 圭一(宮代) | 安江 富枝(曲坂) |
| 加藤 公一(栃山) | 安江 和郎(下野) |
| 河田 重喜(西洞) | 新田 義男(加舎尾) |
| 安江 富枝(曲坂) | 安江 武子(平) |
| 安江 富枝(曲坂) | 田口 耕作(中谷) |
| 安江須美代(平) | 河田あや子(西洞) |
| | 村雲みか子(中通) |
| | 田口 秋映(日向) |
| | 安江すみよ(平) |
| | 安江 圭一(宮代) |
| | 河田 重喜(西洞) |

こぼれ話



平成四年 度、我が東白川小は全日本健康推進学校「すこやか賞」、県においては健康推進、歯の優良、環境衛生の三部門で県一位とトリプル受賞を果たした。すばらしい快挙である。▼健康を村是とした戦後からの取組みが受け継がれて、今日の快挙につながったことにこの受賞の価値がある。ともすれば表彰は数年の取組みでいただけのものもある。そして打上げ花火のようにパツと咲いてパツと消えていくそんな事例も多く耳にする。▼しかし、東白川小は違う。統合以前の三小学校当時から常に上位入賞を欠かしたことがないからだ。いわゆるピラミッドのように土台がしっかりしているからだ。堂々と誇りた。▼しかし、これからの難しい。頂上に立っているか降りるしかないのである。村の子供たちのために降りないでがんばろう。又はさらに高いピラミッドを目指し飛んでみようか。今年が西年だから……。